

総合防災訓練 400名の参加!!

5月25日(日)、寒い時期を避けて春に行うことにした今年の山中比叡平防災訓練、400名近い参加(一時避難訓練の集計)で実施されました。未明まで激しい雨が降っていましたが、午前7時過ぎに雨が止み、予定通り実施しました。午前9時に各自治会指定の一時避難場所「避難者カード」に記載し、集団で比叡平小学校のグラウンドに向かいました。【写真1】会場に到着すると、まず「煙体験テント」の中を通りました。【写真2】大塚本部長(自治連合会長)の挨拶と川岸事務局長の説明に続き、全員を4班に編成して、順に4つの

訓練を行いました。訓練冒頭、「こちらは山中比叡平～当学区において5月25日8時50分に大地震発生。家屋の倒壊や道路の陥没が多数発生。9時45分現在負傷者20名、重症者～三か所で火災発生。住民が初期消火にあたっています。」と昨年市民センターに設置されたポータブルMCA無線で大津市消防局通信指令課に通信訓練をしました。【写真3】



写真2



写真1



写真1

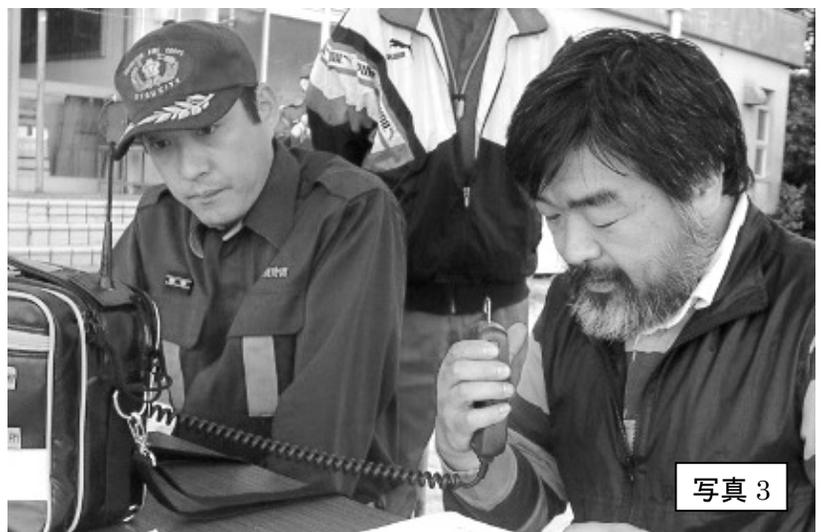


写真3

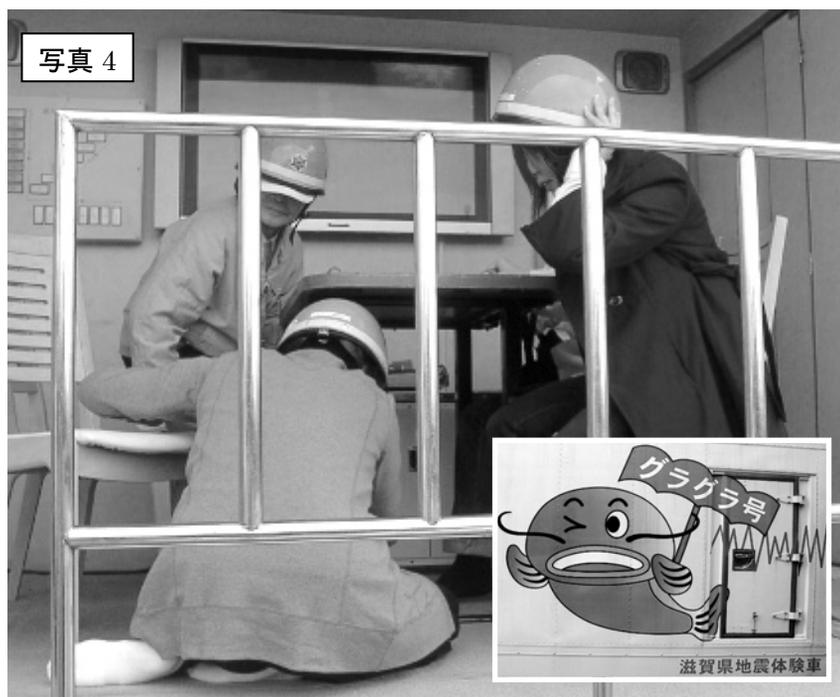


写真4



続いて、滋賀県の起震車による地震体験。一般的な震度7、兵庫県南部地震、関東大震災の揺れの体験コースがあり、揺れが始まると思わずしゃがみ込む方もいました。【写真4】横では、火災報知器の説明がありました。2011年6月から各家庭でも設置が義務づけられますので、現物を手にとって真剣に説明を聞いていました。消防局は早めの設置を勧めています。【写真5】消火訓練は、消火栓の実物模型で指導を受けました。スタンドパイプの取り付け、消防ホースの延ばし方、60mのホースを通した放水体験



写真5

小学校登下校の安全確保にご協力を!



この数年、下校時に小学生が無残にも殺害されるという事件が多く発生しており、直近でも高校一年の女子生徒が殺害される事件が愛知県豊田市と京都府舞鶴市で相次いで起きています。幸い山中比叡平ではこれまで大事件

は起こっていませんが、不審者の情報も少なからずあり、今日の世情を考えると、ここが安全だと考える余地はまったくありません。

これまで児童の登下校時における安全確保については、教職員、PTA、防犯推進協議会のみなさんによる取組みがされてきています。とりわけ水曜日の集団下校の際には、特定の週を決めて付添をされています。

しかし域の安全を確保する課題は、地域ぐるみの取組みが肝要で、またその効果も大きいことはいまでもありません。今すぐに行えることとして、住民のみなさんに次のご協力をぜひお願いいたします。



水曜日、一緒に下校されるPTAの役員の方

☆昼間家におられる方は、登下校時に道路に出て、児童を見届けてください。

☆昼間散歩される方は、登下校時間帯に合わせてください。

☆車の運転をされる方は、子どもの飛び出しに十分注意するとともに、団地内での制限速度、30Kmを守って下さい。



【登校時間】 学校は 8:00~8:20 の間と指導していますが、早い児童は 7:30 頃に家をでます。

【下校時間】 基本的には 14:00~15:40 ですが、曜日、学年で異なります。

水曜日の集団下校は 14:00 で、6年生が引率し、班毎に下校します。

一面からの続き

などを行いました。【写真 6】可搬式消防ポンプの使用訓練は、ポンプを起動し、簡易水槽に溜めた水を使って、放水しました。【写真 7】体育館では搬送訓練とAEDの説明が行われました。訓練搬送は毛布のみの場合、毛布と竹竿の場合、二人で抱える場合などを体験しました。【写真 8】ADEについては、市民センターに1台、山中町に2台、大塚比叡平山荘に2台あります。なお AED の講習を含む普通救命講習会が 6 月 15 日(日)に市民センターで行われます。これを受けることにより、実践的な経験を積むことができます。閉会式では中消防署長から、「比叡平は土砂災害により孤立するおそれがあるので、救援が来るまでの間の地域での自主防災活動が大切」だとの話がありました。閉会式の終了後に、大津市総合防災課から提供の乾パンの缶詰と大塚比叡平山荘から提供のソイジョイが訓練参加者に配

布されました。中消防署の皆様、山中比叡平消防分団の皆様をはじめ、ご指導、ご協力下さいました皆様に感謝します。



写真 8



写真 6



写真 7